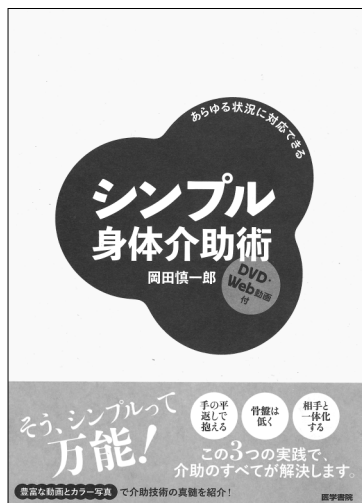




あらゆる状況に対応できる シンプル身体介助術 [DVD・Web 動画付]

岡田 慎一郎 著

本体2600円＋税
医学書院 ☎03-3817-5657

以前、岡田慎一郎先生の「身体介助術」のニューヨークでの講演会に参加させていただいたことがあります。実践指導を通じて教えてくださった多くの技を一生懸命覚えて帰ったつもりでしたが、いざ実生活で活かそうというとき「あれ？この場合はどう動くんだっけ？」と思いつけなかったことがあり、とても残念な思いをしていました。そのようなとき、DVDとWeb動画付きの本書が発売されたことを知り、早速手に取りました。本書はタイトルどおり「シンプル」な身体介助術の本です。基礎編と38事例の実践編で構成され、「相手との関係の3原則」を軸に、具体的な動き方をDVDとWeb動画で確認しながら読み進むことができます。非常にわかりやすく、覚

えやすく、もし忘れてもすぐに動画で再確認できるので安心です！そして、ほかの多くの介助技術の書籍との違いは、驚くほどシンプルで一貫性のある点だと思います。

随所にちりばめられた 重要なヒント

また、本書には、重要なヒントが随所に出てきます。たとえば、在宅介護のためにトイレをリフォームされたお宅におじゃました際、便座から立ち上がるとき、目の前に手すりがあるって便利だなと感じます。しかし、介助が必要な方にとっては、手すりが「目の前」ではダメなのです。むしろ、手を伸ばし自分で腰を浮かせるために遠くにあるほうがよいのです。また、ベッドに寝ている方や車いすに座っている方に話しかけると、気づかないうちに、その方よりも高い目線から話しかけていることが少なくありません。それでは、知らず知らずのうちに相手に威圧感を与えてしまっています。

私自身、長年にわたり両親の在宅介護施設での介護を通じて、多くの介護士、看護師の方々にお世話になりました。そのときに本書に出合うことができました。両親にとっても、そして介護者にとっても、

もっと心と身体に優しい介護ができたのではないかと思います。とくに自力では移動できない体格の大きい方を動かす方法、ベッドをギャッチアップした際に足元方向にずれた方の体勢を戻す方法、車いすからベッドへの移乗方法などは頻繁に使う技術なので、もっと早くに知りたかったという思いです。加えて、認知症・暴力対応の方法も紹介されており、多くの介護士、看護師が抱えるご苦労を減らすことができるのではないかと思います。

身体と心の最小限の力で

介護やケアの仕事を続けるうちに、介護者が身も心も痛めて離職してしまう悲しい現状をよく耳にします。その問題に対する答えの1つが本書かもしれません。本書からは多岐にわたる介助技術が学べるだけでなく、要介護者と介護者の根本的な心のつながりの大切さを再認識できるからです。お互いに無理をせず、工夫により身体と心の最小限の力を大きな力に変えることにより、最大の充足感、満足感を長きにわたり共有できるのでないでしょうか。そんな学びを与えてくれたこの本に感謝するとともに、皆さまにお勧めしたいと思います。